

地球環境とスイーツの共生

■ 環境目標と結果

モロゾフは2007年に環境マネジメントシステムを導入し、3年間で区切りとした目標値を設定し活動してきましたが、2010年度で最初の3年間で終了しました。システム対象部門では、2010年度の実績に基づき、次の3年間の新たな目標を定め、2013年度を目指した活動を行なっています。

環境目標と結果(2012年度)

六甲アイランド工場(物流含む)		2013年度目標(到達点)	2012年度目標	2012年度実績	評価
省エネ 省資源	電気	10.0%削減する	1.0%削減	12.7%削減した	◎
	プロパンガス	7.0%削減する	2.0%削減	7.4%削減した	◎
	水道水	4.0%削減する	2.0%削減	6.4%削減した	◎
廃棄物	一般ゴミ	3.0%削減する	2.0%削減	2.4%増加した	×
	食品ゴミ	リサイクル100%	リサイクル100%	リサイクル100%	○
汚染予防	排水、フロンガス、 プロパンガス、有機溶剤	汚染事故"0"件維持	汚染事故"0"件維持	汚染事故"0"件維持	○

六甲アイランドオフィス		2013年度目標(到達点)	2012年度目標	2012年度実績	評価
省エネ 省資源	電気	5.0%削減する	4.0%削減	5.8%削減した	○
	OA紙	5.0%削減する	4.0%削減	12.8%削減した	◎
廃棄物	一般ゴミ ※	5.0%削減する	4.0%削減	18.8%増加した	×
	紙ゴミ(再生可能なもの)	100%再生紙原料化する	100%再生紙原料化する	100%再生紙原料化達成	○
有益活動	商品の設計における環境配慮	累計 6件導入する	環境配慮素材2件導入	2件導入した	○
	製品の設計における環境配慮	累計 9件実施する	食品ゴミの各工場での発生量削減に向けての支援。3件実施	4件実施した	○
		累計 6件実施する	原料及び仕掛品の共通化 2件実施	2件実施した	○

西神工場		2013年度目標(到達点)	2012年度目標	2012年度実績	評価
省エネ 省資源	電気 ※	4.0%削減する	3.0%削減	1.0%削減した	△
	プロパンガス ※	4.0%削減する	3.0%削減	5.2%増加した	×
	都市ガス ※	4.0%削減する	3.0%削減	5.8%増加した	×
	水道水 ※	4.0%削減する	3.0%削減	14.5%増加した	×
廃棄物	一般ゴミ ※	4.0%削減する	3.0%削減	7.6%削減した	◎
	食品ゴミ	4.0%削減する	3.0%削減	4.3%削減した	○
		リサイクル100%	リサイクル100%	リサイクル100%	○
汚染予防	排水、フロンガス、 プロパンガス、有機溶剤	汚染事故"0"件維持	汚染事故"0"件維持	汚染事故"0"件を維持	○

①削減は2010年度実績に対する削減率です。(ただし、※は2011年度対比です)

②評価は、◎…目標を大きく上回った、○…目標達成、△…目標未達成だが進捗した、×…目標未達成、です。

■ 食品リサイクル率向上

食品廃棄物の排出の抑制と有効利用促進のために制定された「食品リサイクル法(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)」が2007年に改定され、モロゾフも生産部門・喫茶部門からの食品廃棄物のリサイクル化に取り組んでいます。2012年度は76.8%(329.8t)と大きな伸びとなり、地球環境の維持に貢献しています。リサイクルの方法としては豚や牛の飼料、肥料、メタンガス生産など、さまざまな方法で再生利用の促進に寄与するとともに、最終目標であるリサイクル率80%以上を目指して、これからも食品リサイクルを進めていきます。

■ 環境負荷低減への取り組み

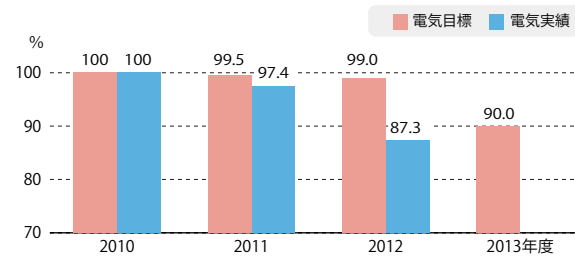
〈六甲アイランド工場での取り組み〉

省エネ・省資源に向けて ー電気

電気使用量は、2010年度に対し12.7%削減し、大きく目標を上回る削減を達成しました。

窓の遮光フィルム、消灯の啓発、ボイラー・エア設備の使用時間監視、デマンド監視装置での監視および夏季空調機や冷凍庫の一部計画停止など、これまでの活動を継続するとともに、2012年度は稼働パターンの大幅な変更による削減を実現しました。また、夏のピーク時電力の低減にも対応しました。

2012年度に大幅な削減ができたため、2013年度の削減目標を1.5%から10.0%に引上げて活動しています。

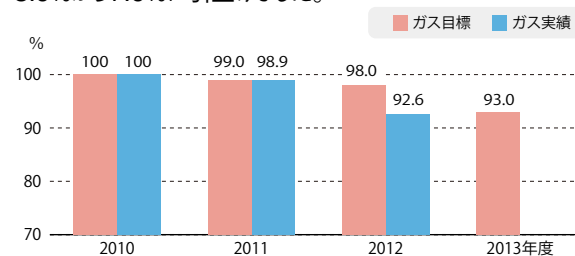


省エネ・省資源に向けて ーガス

ガス使用量は、2010年度に対し7.4%削減し目標を達成しました。

各種オープンのガスバーナー燃焼改善と維持、プロパンボンベ保管庫・施設の監視、ボイラーの使用時間監視によるこまめな運転時間設定(15分刻み)などを実施しました。

2012年度の削減実績により、2013年度の削減目標を3.0%から7.0%に引上げました。

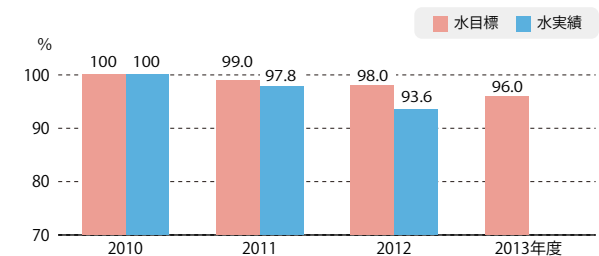


省エネ・省資源に向けて ー水

水の使用量は、2010年度に対し6.4%削減し目標を達成しました。

節水の啓発、洗浄作業時の不要なカラン開放禁止、プリン・ゼリー冷却水槽の洗浄頻度適正化による水入れ替え回数の削減、共用手洗い水の水量調節および漏水監視、クーリングタワー水の監視と飛散水の管理などを実施しました。

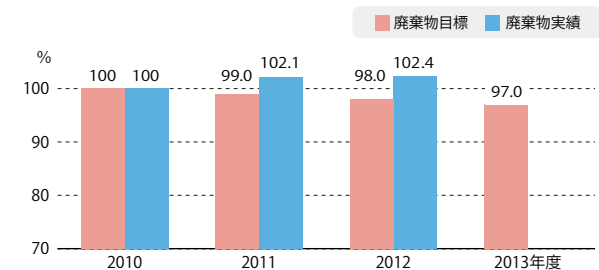
2012年度の削減実績により、2013年度の削減目標を3.0%から4.0%に引上げました。



廃棄物削減

廃棄物の削減では、紙ごみの再資源化、ペットボトルの回収などを実施しましたが、目標を達成することができませんでした。

食品ごみでは、2010年度より開始したリサイクル化(飼料化)を推進し、2012年度は六甲アイランド工場単独でリサイクル率100%を達成しました。

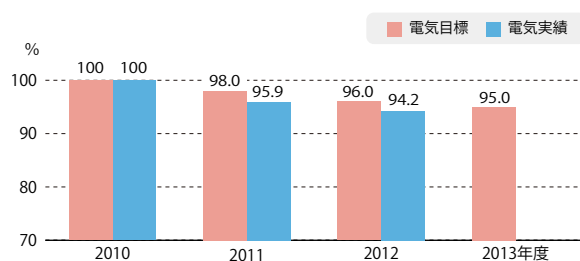


〈六甲アイランドオフィスでの取り組み〉

省エネ・省資源に向けて — 電気

オフィス部門の電気使用量は、2010年度に対し5.8%削減し目標を達成しました。

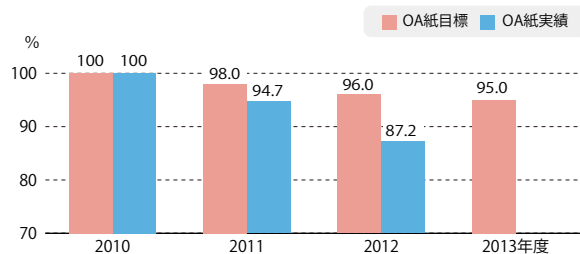
蛍光灯の間引、照明の半灯(昼休み)、OA機器の適正稼働など、これまでの活動に加え、照明スイッチの細分化(個人レベル)推進、空調機のきめ細かい稼働、ノー残業デーの導入などを実施しました。



省エネ・省資源に向けて — OA紙

OA紙使用量は、2010年度に対し12.8%削減し大きく目標を上回る削減を達成しました。

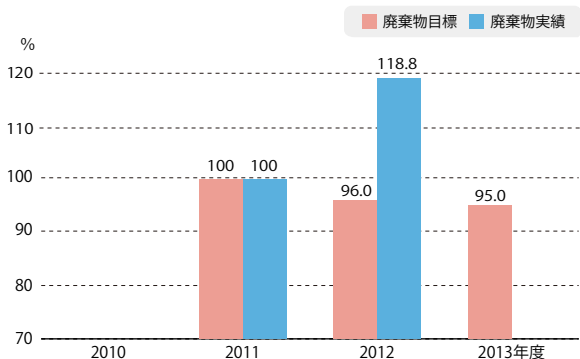
書類の電子化、印刷ミス・無駄印刷の防止などのきめ細かい活動を継続するとともに、従業員による定期的な職場巡回で順守状況を確認しています。



廃棄物削減

2010年度までで大幅な削減を実現した廃棄物の削減では、2011年度に測定方法を改善したため、基準年度を2011年度として目標を設定しました。

削減活動では、個人ゴミ箱の撤去、給食少量サイズの導入、マイコップの推進などを継続しています。しかし、2012年度はオフィス内の各部門で大きな整理活動が集中したことでゴミが増加し、目標を達成することができませんでした。



設計開発における環境配慮

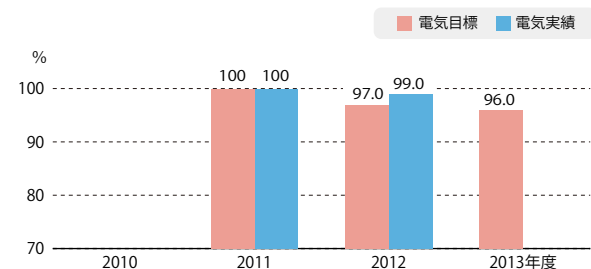
設計開発部門では、環境への負荷を低減させるために、商品カタログのベジタブルインクと水無し印刷による制作、葉類への非木材紙の採用などに取り組んでいます。また、製品設計の改良により、工場での廃棄物削減に向けての支援も行っています。

〈西神工場での取り組み〉

西神工場では、増設した新工場の生産体制が2011年度に整ったため、すべての削減目標の基準年度を2011年度に置き換え、本格的な活動に入りました。

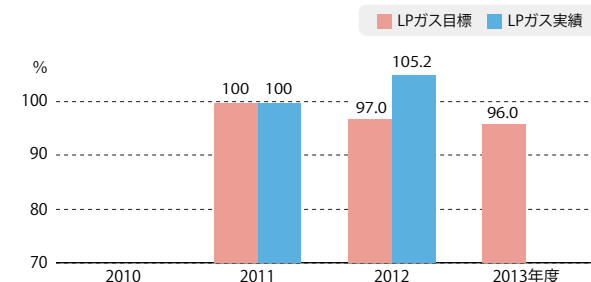
省エネ・省資源に向けて — 電気

電気の削減では、照明の見直し(蛍光灯の200本削減)、コンプレッサーの適正稼働による稼働台数削減、デマンド監視装置による監視などを実施しましたが、使用量全体では1%の削減にとどまりました。



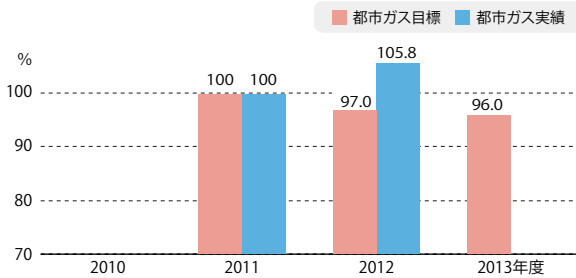
省エネ・省資源に向けて — LPガス

LPガスでは、工場内放熱箇所の保温、生産設備の運転時間調整などを実施しましたが、夏のピーク時電力低減のために従来稼働していなかった土曜日、日曜日も工場を稼働させたために目標を達成することができませんでした。



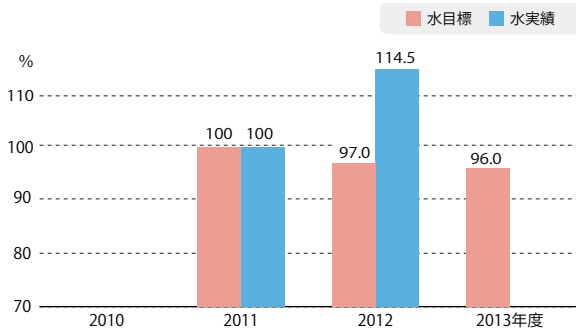
省エネ・省資源に向けて 一都市ガス

西神工場は一部の空調を都市ガスで行っています。空調機では、フィルター等の計画的清掃による冷房効率アップ、運転エリアと時間の管理による稼働時間の削減、空調温度の見直しによる負荷削減を実施しました。また、ボイラーでは、蒸気設定圧力の適正化と使用時間の監視、負荷に応じた台数制御、ジャケットタンク・配管等の保温による断熱強化などを実施しました。しかし、LPガスと同様に土曜日、日曜日の追加稼働により目標を達成することができませんでした。



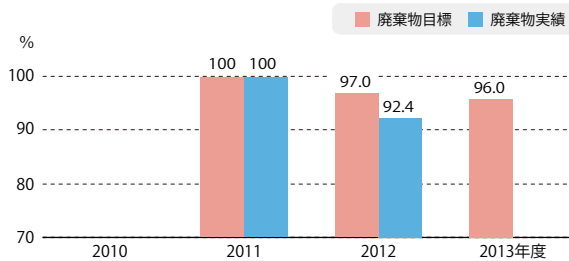
省エネ・省資源に向けて 一水

水の使用では、節水の啓発、洗浄作業時の不要なカラン開放禁止、共用手洗い水の水量調節および漏水監視、クーリングタワー水の監視と飛散水の管理などを実施しましたが、新規生産ラインでの洗浄水の増加により目標を達成できませんでした。



廃棄物削減

廃棄物量は、2011年度に対し7.6%削減しました。食品リサイクル率100%を維持するとともに、その他の廃棄物でも紙、空き瓶、金属などのリサイクル化を推進しています。



■ マテリアルバランス

モロゾフは企業活動のあらゆる面で地球環境にさまざまな負荷をあたえています。モロゾフは自らが作り出している環境負荷を正しく認識し、環境に配慮した取り組みを行っています。2012年度のマテリアルバランス(環境負荷状況)は以下のとおりです。

